

性差別と暴力

医学部入試女性差別問題
セクシュアル・ハラスメント
を巡って

講師 角田由紀子 弁護士

昨年、東京医科大学不正入試問題が発覚したことを契機とし、医学部入試における女性差別の実態が明らかとなりました。公正・公平に行われるべき大学医学部入学試験において、女性に対する明白な差別的取り扱いが行われてきたことが明らかになり、人々の怒りと批判が集中しています。

また、昨年発覚した財務省事務次官によるテレビ朝日女性記者へのセクハラ問題などから、セクシュアル・ハラスメントに対する意識・関心が高まっています。

当連合会では、このような社会に根ざす性差別と、性差別からくる暴力の問題について、日本初のセクシャル・ハラスメント裁判の代理人を務められた角田由紀子弁護士をお招きし、市民講演会を開催することとなりました。

私たちがいまどのような状況にあり、何から解決していけばよいのか、角田弁護士のお話を聞きながら、ともに考えていきたいと思えます。



開催要項

日時 2019年11月7日(木)
午後3時

場所 仙台弁護士会館4階大会議室
(仙台市青葉区一番町2丁目9番18号)

参加費 無料

お問い合わせは、東北弁護士会連合会事務局まで

TEL: 022-264-3861

主催: 東北弁護士会連合会
共催: 仙台弁護士会

講師 角田由紀子 弁護士

経歴

- ・第二東京弁護士会所属
- ・日弁連両性の平等に関する委員会
- ・医学部入試における女性差別対策弁護団共同代表
- ・元明治大学法科大学院教授
- ・元法務省法制審議会刑事部会委員

著書

- ・「性と法律 変わったこと 変えたいこと」(岩波新書)